

# 目 次

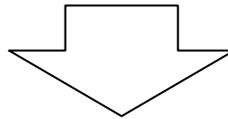
提言要旨	1
1 はじめに	2
2 事例と課題	3
・ 山口県防府市の事例	
3 政策提言	7
・ 情報管理専門チームの編成	7
(1) 目的・任務	8
(2) 設置時期	8
(3) メンバー	8
(4) メンバーの研修	9
(5) 情報の集約と整理	9
(6) 情報の分析	10
(7) 専門チームの解散	10
4 おわりに	10
資料 1 (災害情報受信票)	12

# 提 言 要 旨

## ～大雨による災害発生時の情報整理～

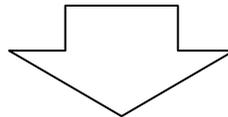
### 【現状】

- 自然災害が発生または発生する恐れがある場合は、各市町村で策定される地域防災計画に基づき、災害対策本部が設置され各種対応にあたる。
- 大雨による災害が発生の際、災害対策本部には、気象台等関係機関からの情報のほか、各担当部署や住民から多くの情報が寄せられ、断片的・不正確な情報もあり、情報の錯綜や現場の混乱が生じて、情報収集、伝達機能が低下するケースがある。
- 災害状況によっては、職員の確保も困難となり、限られた人員で対応しなければならない。



### 【課題】

- 災害対策本部に寄せられる情報の中には、輻輳、曖昧な情報や誤報も寄せられるため、いかに効率的に正確な情報として把握するかといった、情報の整理が重要な課題とされる。
- 災害対策本部は、寄せられた情報から緊急性や重要性の高いものを優先して対応することが求められ、そのためには、情報の整理、分析が重要な課題となる。



### 【提言】

- 横断的な職員配置でかつ少人数で構成した、情報管理専門チームを編成し、そのチームを中心に情報の集約、整理、分析を行う。